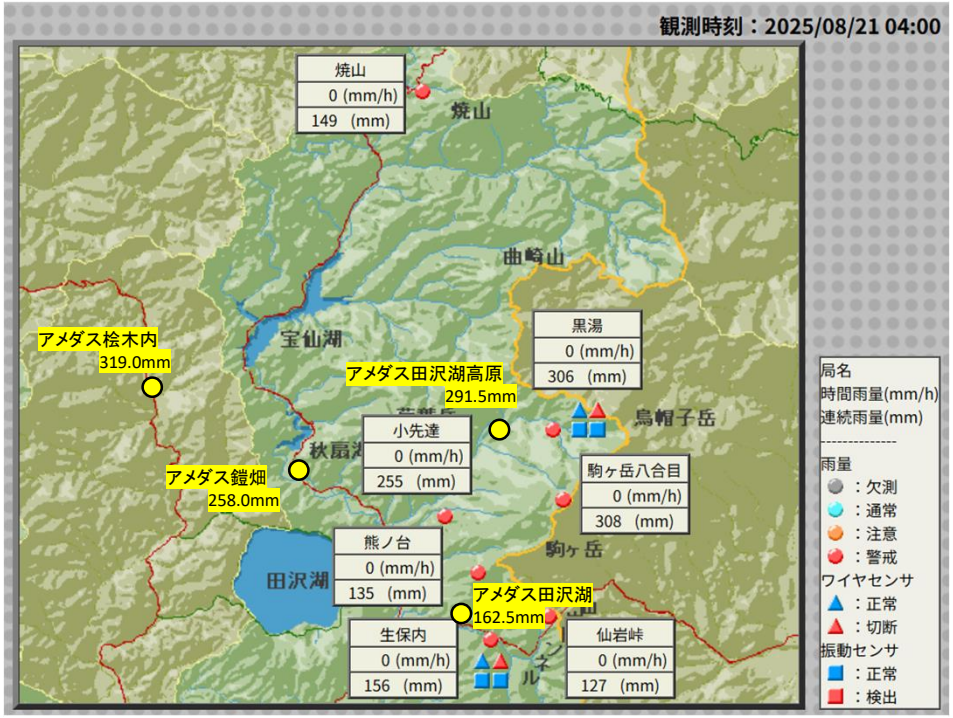
「令和7年8月大雨を受けた八幡平山系直轄砂防防事業（秋田県側）の効果」

湯沢河川国道事務所

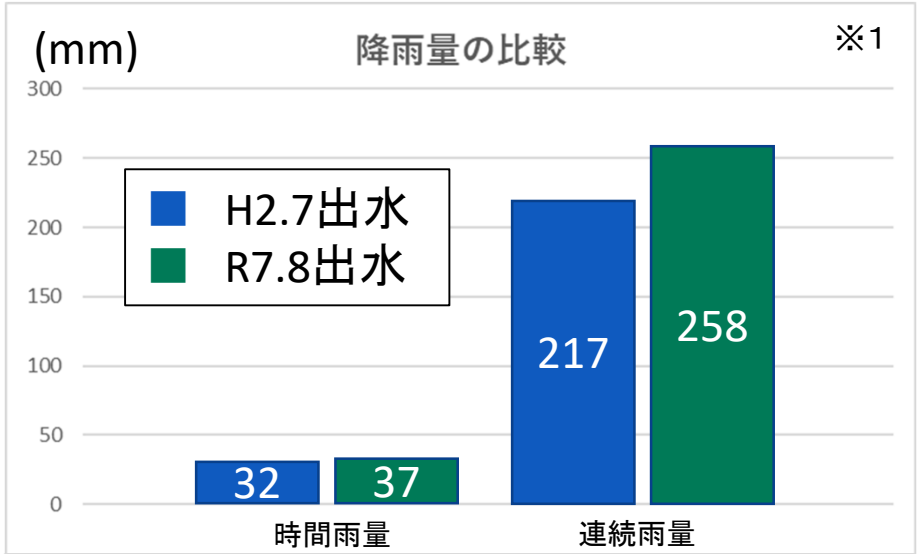
- 過去に先達川において土砂災害をもたらした平成2年7月出水と令和7年8月出水の雨量を比較
- これら2つの出水は、概ね同等の雨量規模であるが、先達川に整備された砂防施設により土砂災害は発生せず、被害解消が図られた

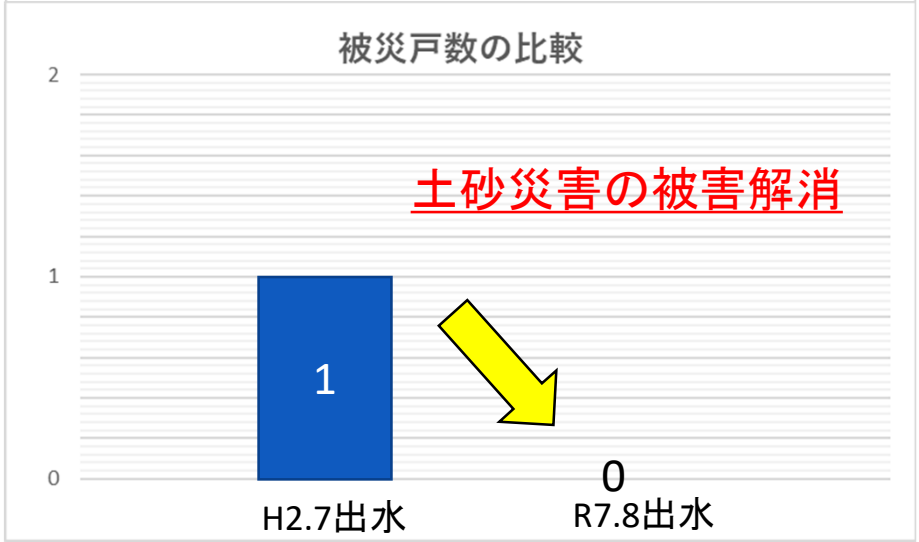
令和7年8月19日出水の雨量



観測所	連続雨量	最大時間雨量	備考
アメダス桧木内	319.0mm	44.5mm	8/19-8/21
アメダス田沢湖	162.5mm	26.0mm	8/19-8/21
アメダス鎧畑	258.0mm	37.0mm	8/19-8/21
アメダス田沢湖高原	291.5mm	38.0mm	8/19-8/21

令和7年8月出水では、先達川上流部・駒ヶ岳周辺で桧木内地点(319mm)と概ね同等の雨量を記録（黒湯306mm/八合目308mm）

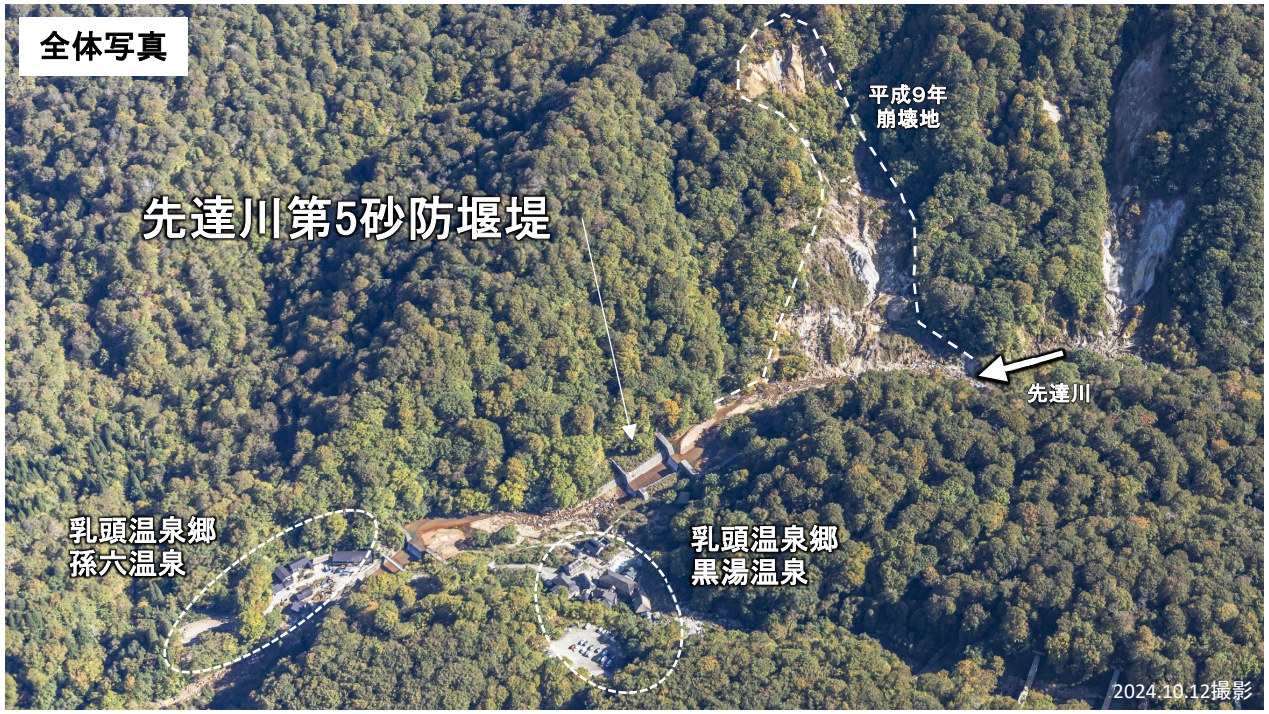




※1：鎧畑雨量観測所での雨量比較

令和7年8月大雨を受けた八幡平山系直轄砂防防事業（秋田県側）の効果」

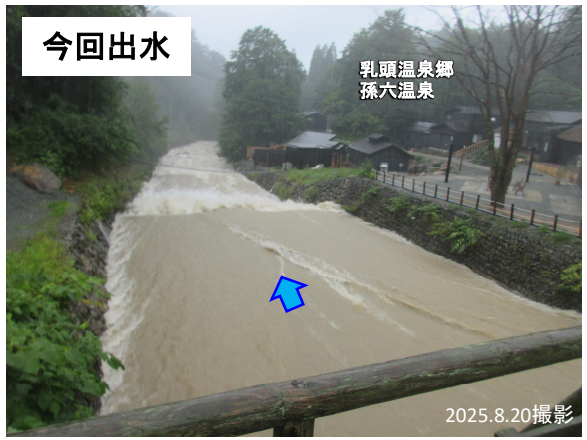
- 先達川上流部では、平成2年7月18日～19日の大雨により先達川で土石流が発生し、下流にある「孫六温泉」の二階建て事務所兼客室が半壊し、浴室が土砂に埋没した被災事例あり
- 令和7年8月19日～20日の大雨では砂防施設が効果を発揮し、土砂災害は発生しなかった





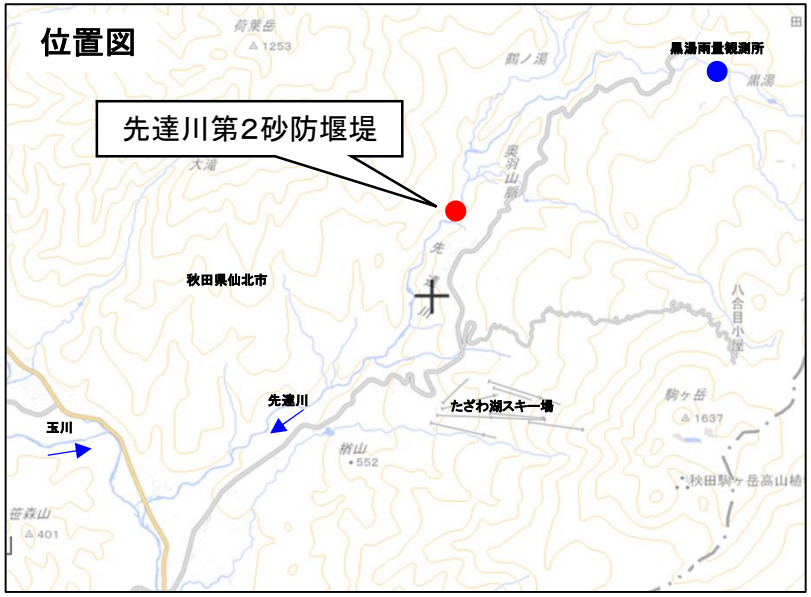






「令和7年8月大雨を受けた八幡平山系直轄砂防防事業（秋田県側）の効果」

- 令和7年8月19日～20日の大雨では、特に玉川支川の先達川上流部でまとまった雨を記録（黒湯雨量観測所では連続雨量306mm）
- 先達川に整備した先達川第2砂防堰堤において、多量の流木を捕捉し下流への流出を防止





流木の捕捉状況
（先達川第2砂防堰堤）
（高さ14.0m／長さ96.0m）

推定流木捕捉量
約400m3（空隙込み）

